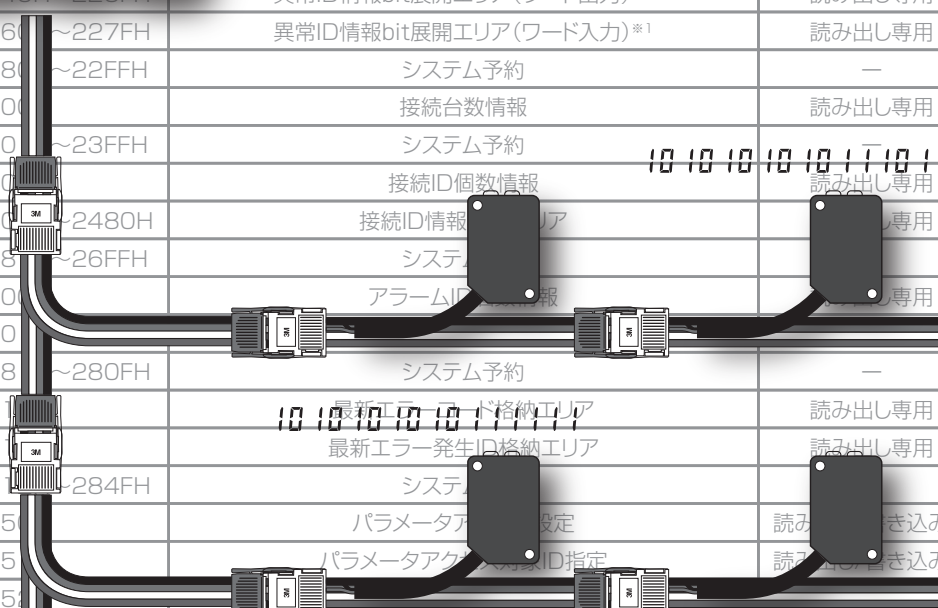
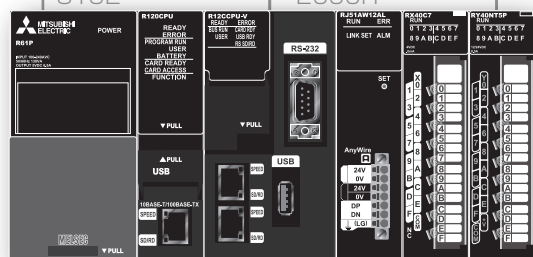


AnyWireASLINK

スタートアップガイド (R マスタ パラメータアクセス編)

バッファメモリアドレス		項目	読み書き可否
10進数	16進数		
0~15	0H~FH	ビット入力情報エリア	読み出し専用
16~511	10H~1FFH	システム予約	—
512~1023	200H~3FFH	ワード入力情報エリア※1	読み出し専用
1024~4095	400H~FFFH	システム予約	—
4096~4111	1000H~100FH	ビット出力情報エリア	読み出し/書き込み可
4112~4607	1010H~11FFH	システム予約	—
4608~5119	1200H~13FFH	ワード出力情報エリア※1	読み出し/書き込み可
5120~8191	1400H~1FFFH	システム予約	—
8192	2000H	異常ID個数情報	読み出し専用
		異常ID情報格納エリア	読み出し専用
		システム予約	—
		異常ID情報bit展開エリア(ビット出力)	読み出し専用
		システム予約	—
		異常ID情報bit展開エリア(ビット入力)	読み出し専用
		システム予約	—
		異常ID情報bit展開エリア(ワード出力)※1	読み出し専用
		異常ID情報bit展開エリア(ワード入力)※1	読み出し専用
8800~8831	2260H~227FH	システム予約	—
8832~8959	2280H~22FFH	システム予約	—
8960	2300H	接続台数情報	読み出し専用
8961~9215	2301H~23FFH	システム予約	—
9216	2400H	接続ID個数情報	読み出し専用
9217~9344	2401H~2480H	接続ID情報格納エリア	読み出し専用
9345~9983	2481H~26FFH	システム予約	—
9984	2700H	アラームID情報	読み出し専用
9985~10112	2701H~27FFH	システム予約	—
10113~10255	2780H~280FH	システム予約	—
10256	2800H	最新エラーコード格納エリア	読み出し専用
10257	2801H	最新エラー発生ID格納エリア	読み出し専用
10258~10319	2802H~284FH	システム予約	—
10320	2850H	パラメータアクセス設定	読み出し/書き込み可
10321	2851H	パラメータアクセス対象ID指定	読み出し/書き込み可
10322	2852H	システム予約	—
10323	2853H	変更ID指定	読み出し/書き込み可
10324~10495	2854H~28FFH	システム予約	—
10496~10751	2900H~29FFH	パラメータ格納先メモリ番号(ビット出力)	読み出し専用
10752~11007	2A00H~2AFFH	システム予約	—
11008~11263	2B00H~2BFFH	パラメータ格納先メモリ番号(ビット入力)	読み出し専用
11264~12095	2C00H~2F3FH	システム予約	—
12096	2F40H	補助情報エリア用イベントコード※1	読み出し専用
12097~12224	2F41H~2FC0H	補助情報エリア※1	読み出し専用





はじめに

■ 「診える化」のキーポイント

パラメータアクセス

AnyWireASLINK が他の省配線と異なる点

それは、「診える化」機能が備わっている点です。

この「診える化」の情報は、個々のリモートユニットに格納されていますが、プログラムで加工する時は、一旦マスタユニットのメモリに読み出してシーケンサ上で行います。

本書は、このパラメータ情報の格納場所や、読み書きの流れなどについて具体例で解説しています。

■ もくじ

はじめに	01
用語解説	02
Case1 DP,DN 断線発生時、どのリモートユニットの異常か知りたい	03
Case2 リモートユニットアラーム発生時、アラームの詳しい内容が知りたい [ステータス詳細の読み出し]	05
Case3 リモートユニットのセンシングレベルを確認したい [パラメータの読み出し]	07
Case4 個別にリモートユニットの機器パラメータを確認したい	09
Case5 個別にリモートユニットの機器パラメータを変更したい	11
補足資料 (入出力信号一覧)	14
補足資料 (入出力信号解説)	15
補足資料 (バッファメモリ一覧)	18
補足資料 (バッファメモリ詳細)	20

■ アドレス

リモートユニットが使用するメモリエリアとの対応をとるためのもので、
全てのリモートユニットに対して設定する必要があります。

入力、出力どちらも 0 ~ 255 (10 進数) の範囲内で設定します。 ※アドレス 255 は出荷時状態を示す番号

入力リモートユニットのアドレス : 0 ~ 255

出力リモートユニットのアドレス : 0 ~ 255

入力も出力も 0 ~ 255 の範囲で設定するということは、
例えば「アドレス 16」と言った場合、入力の 16 なのか出力の 16 なのか
分からないということね。



アドレス 16
入力、出力
どちら？

■ ID

アドレスに入出力の意味をもたせたもので、

入力リモートユニットのアドレス : 0 ~ 255

出力リモートユニットのアドレス : 0 ~ 255

に対して、

入力リモートユニットの ID : 200H ~ 2FFH

出力リモートユニットの ID : 000H ~ 0FFH

となります。 ※本書では 16 進数で表し説明します

「ID210H」と言うと、入力リモートユニットのアドレス 16 番。
「ID010H」と言うと、出力リモートユニットのアドレス 16 番だと
わかるということね！



あーっ



ワンポイント！

- ・入出力混合リモートユニットは、入力リモートユニットと同様の考え方になります。
マスタユニット側では、「入力または入出力混合リモートユニット」と「出力リモートユニット」の 2 種類の区別をするということです。

■ アドレス自動認識

マスタユニットはアドレス自動認識操作実行時に、正常に動作しているリモートユニットの入出力構成や設定されているアドレスを記憶します。

この操作によって登録されたリモートユニット (ID) に対して生存確認、パラメータ通信を行います。

システム立ち上げ時や、システム構成の変更があった場合には必ず行う操作です。



ワンポイント！

- ・接続されているリモートユニットの構成を記憶した後、自動的にパラメーター斉読み出しが実施されます。



■ パラメータ通信

制御に使用する入力 256 点、出力 256 点 (最大) とは別に、各リモートユニットの生存確認信号、センサのセンシングレベル情報、リモートユニットの各種設定値や状態など様々な情報を扱っており、これを I/O のやり取りとは別に、パラメータ通信と呼んでいます。

パラメータ通信には、「自動更新」「パラメーター斉読み出し」「パラメーター斉書き込み」「パラメータアクセス」の 4 種類があります。

①自動更新

：全てのリモートユニットの状態と、センシングレベルの情報を定期的に更新します。

②パラメーター斉読み出し

：全てのリモートユニットの全パラメータ設定値をマスタユニットのバッファメモリに読み出します。

③パラメーター斉書き込み

：マスタユニットのバッファメモリに格納されている全パラメータ設定値を、全てのリモートユニットに書き込みます。

④パラメータアクセス

：「読み出しまたは書き込み」と「対象リモートユニット (ID)」を指定して、指定したリモートユニットの全パラメータ設定値を個別に読み出し / 書き込みします。

Case 1

DP,DN断線発生時、どのリモートユニットの異常か知りたい

■ 基本

プログラムの流れ：

- ①入出力信号 Xn4 (DP,DN 断線異常) が ON
↓
- ②バッファメモリアドレス 8192 (2000H) 異常 ID 個数情報を確認
↓
- ③バッファメモリアドレス 8193 (2001H) 以降の異常 ID 情報格納エリアを確認

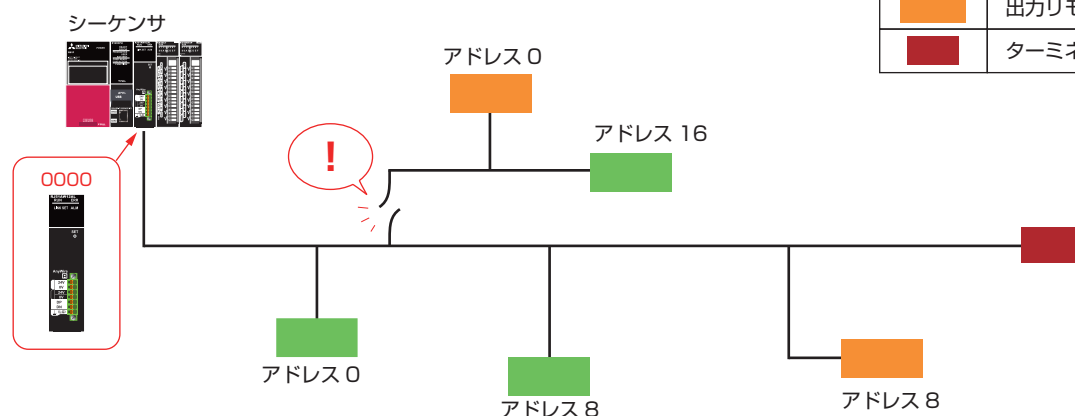
詳細解説ページ

「DP,DN 断線異常フラグ」
15 ページ
「異常 ID 個数情報」
20 ページ
「異常 ID 情報格納エリア」
20 ページ

■ 具体例

[システム構成]

マスタユニットの先頭 XY アドレス：0000
入力リモートユニット 3 台
出力リモートユニット 2 台



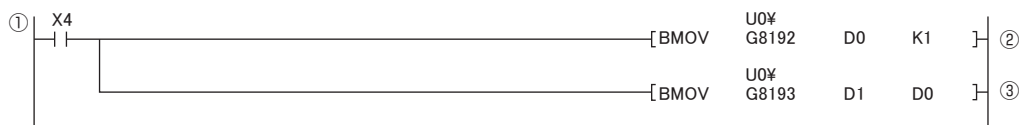
Task

❗印の場所で、伝送ケーブルが断線した場合の例を考えてみましょう

➡参考例は次ページ



参考プログラム：



解説

①X4（DP,DN 断線異常）が ON

↓

②バッファメモリアドレス 8192（2000H）異常 ID 個数情報の値を D0 に転送

↓

※リモートユニット 2 台の応答が切れたので、ここでは D0 に「2」が格納されます。

③バッファメモリアドレス 8193（2001H）以降の異常 ID 情報格納エリアの値を、D1 を先頭に異常 ID 個数分（D0 の数だけ）転送

※区別のため、出力リモートユニットを示す値「0」、入力リモートユニットは「2」が ID 値の左桁に付きます。
よって、ここでは D1 に「0H」、D2 に「210H」が格納されます。

●デバイスモニタ画面

デバイス	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
D0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0002
D1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0000
D2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0210
D3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0000
D4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0000

この値から、断線検出されたリモートユニットは、

出力アドレス0

入力アドレス16

である事が分かります。

Point

アドレス0の出力リモートユニットのIDは0Hだから
D1が「0」なのか。ちょっと注意がいるかもしれないな。



■ 基本

プログラムの流れ：

- ①対象 ID のパラメータ格納先メモリ番号を確認
↓
- ②確認したパラメータ格納先メモリ番号を先頭に、
48 ワードの構成の 40 ワード目（ステータス詳細）に該当するバッファメモリアドレスの
内容を確認

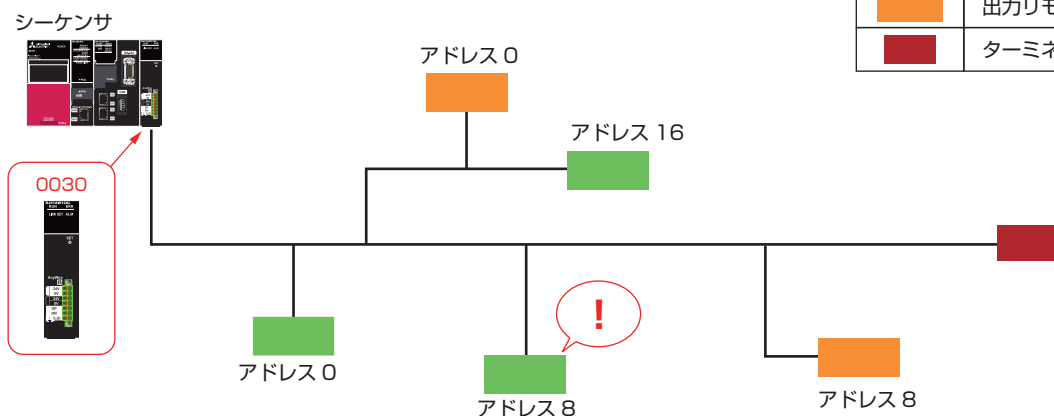
詳細解説ページ

「リモートユニットアラーム信号」	16 ページ
「アラーム ID 個数情報」	20 ページ
「アラーム ID 情報格納エリア」	20 ページ
「パラメータ格納先メモリ番号」	25 ページ
「パラメータ格納エリア」	27 ページ
「ステータス詳細」	31 ページ

■ 具体例

[システム構成]

マスタユニットの先頭 XY アドレス：0030
 入力リモートユニット 3 台
 出力リモートユニット 2 台



記 号	意 味
	入力リモートユニット
	出力リモートユニット
	ターミネータ

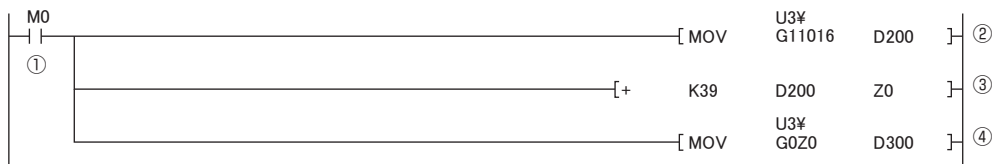
Task

❗ 印のリモートユニットがセンシングレベル低下を検知した場合の例を考えてみましょう

➡参考例は次ページ



参考プログラム：



解説

①M0（ステータス詳細の読み出しをするトリガ）を ON

↓

②U3¥G11016（ID208Hのパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス）を D200 に転送

↓

※ここでは D200 に「12432」が格納されます。

③D200 の値に 39（ステータス詳細）を加えた値を、オフセットデバイス Z0 に転送

↓

※パラメータ格納エリア 48 ワードの構成で先頭から 40 ワード目がステータス詳細

↓

※ここでは Z0 に「12471」が格納されます。

④バッファメモリアドレスの先頭から Z0（12471）オフセットした位置の値を D300 に転送

↓

※ここでは D300 に「2」が格納されます。

D300 の値から、アラームの詳細を確認します。

↓

※ここでは D300 の値は「2」となり、アラームの内容がセンシングレベル低下であると分かります。

	ビット NO.																
デバイス	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	データ
D300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

■ 基本

プログラムの流れ：

- ①対象 ID のパラメータ格納先メモリ番号を確認
↓
- ②確認したパラメータ格納先メモリ番号を先頭に、
48 ワードの構成の 41 ワード目（センシングレベル）に該当するバッファメモリアドレスの
内容を確認

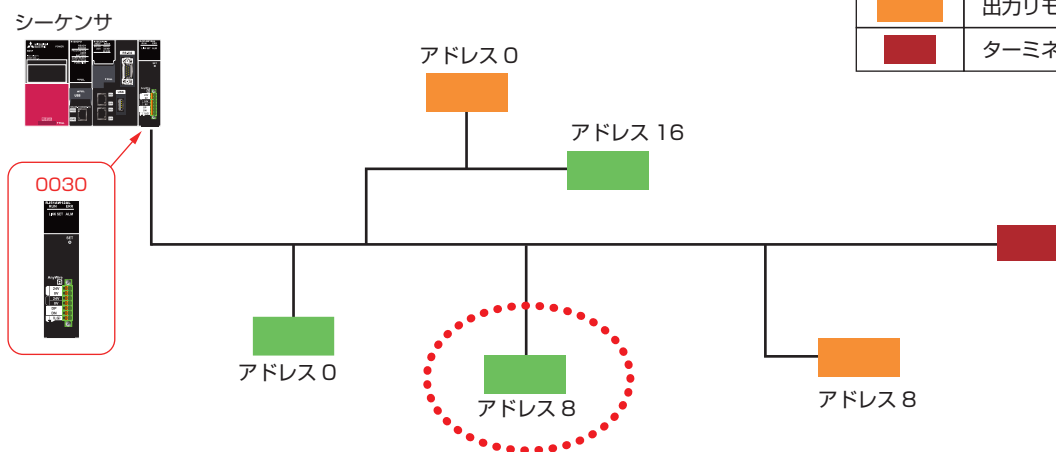
詳細解説ページ

「パラメータ格納先メモリ番号」
25 ページ「パラメータ格納エリア」
27 ページ「48 ワードの構成」
30 ページ「センシングレベル」
31 ページ

■ 具体例

[システム構成]

マスタユニットの先頭 XY アドレス：0030
 入力リモートユニット 3 台
 出力リモートユニット 2 台



記 号	意 味
	入力リモートユニット
	出力リモートユニット
	ターミネータ

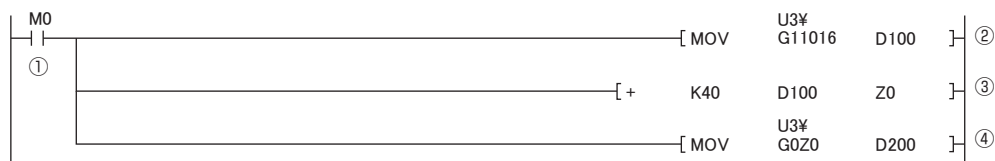
Task

「アドレス 8」 リモートユニットのセンシングレベルを確認する
 場合の例を考えてみましょう

➡参考例は次ページ



参考プログラム：



解説

①M0（センシングレベルの読み出しを実行するトリガ）を ON

↓

②U3¥G11016（ID208Hのパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス）を D100 に転送

↓

※ここでは D100 に「12480」が格納されます。

③D100 の値に 40 を加えた値を、オフセットデバイス Z0 に転送

↓

※パラメータ格納エリア 48 ワードの構成で先頭から 41 ワード目がセンシングレベル

↓

※ここでは Z0 に「12520」が格納されます。

④バッファメモリアドレスの先頭から Z0（12520）オフセットした位置の値を D200 に転送

↓

D200 の値から、センシングレベルを確認することができます。

昇順5番目
ですね

ID昇順	パラメータ格納エリア
000H	Un¥G12288~Un¥G12335
008H	Un¥G12336~Un¥G12383
200H	Un¥G12384~Un¥G12431
208H	Un¥G12432~Un¥G12479
210H	Un¥G12480~Un¥G12527

■センシングレベルが98だった場合の例

バイナリ→10進数変換値

ビット NO.																	
デバイス	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	データ
D200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	98

バイナリを10進数に変換する場合の桁の重み → ... 128 64 32 16 8 4 2 1

2進数（バイナリ）“0000000001100010” を10進数に変換する場合は、“1” になっている各桁の重み（10進数）を加算します。

上記の場合、ビットNO.6,5,1が“1” です。

これらの重みは、64,32,2なので、 $64+32+2=98$ となります。

0	0	0	0	1
0	0	0	1	1
0	0	1	0	1
0	0	1	1	1
0	1	0	0	1
0	1	0	1	1
0	1	1	0	1
0	1	1	1	1
1	0	0	0	1



Case4

個別にリモートユニットの機器パラメータを確認したい

- ・ ASLINKセンサのしきい値を確認する
- ・ スマートLINKERの断線情報を確認する など

■ 基本

プログラムの流れ：

- ①パラメータアクセス設定（Un¥G10320）にて読み出しを指定
↓
- ②パラメータアクセス対象 ID 指定（Un¥G10321）にて ID を指定
↓
- ③パラメータアクセス要求指令 Y(n+1)0 を OFF→ON
↓
- ④パラメータアクセス完了フラグが ON になるのを確認して、
対象 ID のパラメータ格納先メモリ番号を確認
↓
- ⑤確認したパラメータ格納先メモリ番号を先頭に、
48 ワードの構成の確認したい機器パラメータに該当するバッファメモリアドレスの内容を確認
↓
- ⑥パラメータアクセス要求指令 Y(n+1)0 を ON→OFF

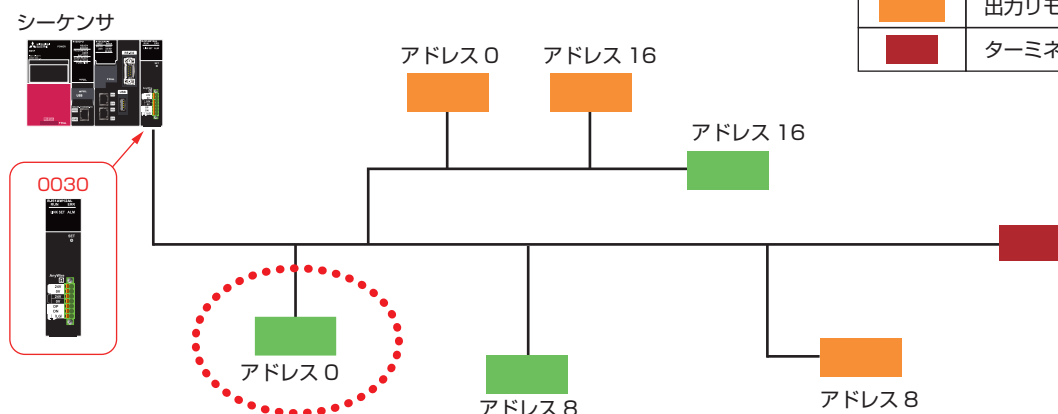
詳細解説ページ

「パラメータアクセス設定」	24 ページ
「パラメータアクセス対象 ID 指定」	24 ページ
「パラメータアクセス要求指令」	17 ページ
「パラメータアクセス完了フラグ」	16 ページ
「パラメータ格納先メモリ番号」	25 ページ
「パラメータ格納エリア」	27 ページ
「48 ワードの構成」	30 ページ

■ 具体例

[システム構成]

マスタユニットの先頭 XY アドレス：0030
入力リモートユニット 3 台
出力リモートユニット 3 台



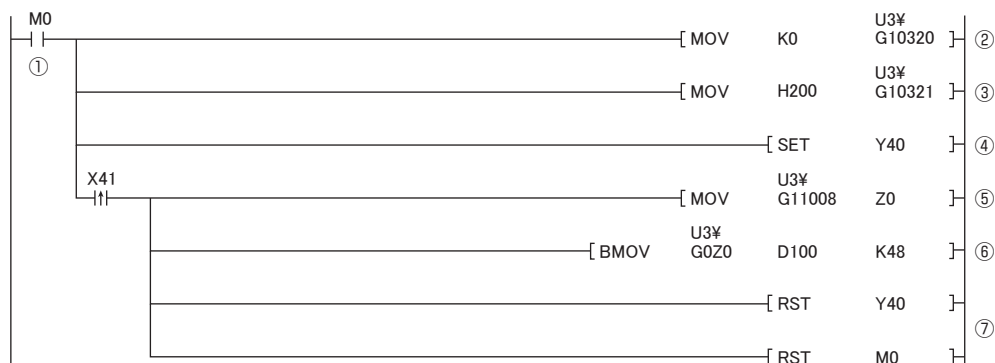
Task

「アドレス 0」入力リモートユニットのセンシングレベルを確認する場合の例を考えてみましょう

➡参考例は次ページ



参考プログラム：



解説

①M0（パラメータ読み出しを実行するトリガ）をON

↓

②U3¥G10320（パラメータアクセス設定）に0を格納

↓

※0を格納して「読み出し」を指定

③U3¥G10321（パラメータアクセス対象ID指定）に200Hを格納

↓

※読み出し対象のリモートユニットIDを指定

④Y(n+1)0（パラメータアクセス要求指令）をOFF→ON

↓

⑤X(n+1)1（パラメータアクセス完了フラグ）の立ち上がりで、U3¥G11008（ID200Hのパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス）をオフセットデバイスZ0に転送

↓

※ここではZ0に「12432」が格納されます（マスタユニットに登録されているID昇順の4番目）

⑥バッファメモリアドレスの先頭からZ0（12432）オフセットした位置から48ワード分のデータをD100を先頭に転送（D100～D147）

↓

※ID200Hに該当するパラメータ格納エリアの48ワードの内容を全て読み出す

⑦Y(n+1)0とM0をON→OFF

D100～D147で、ID200Hの各パラメータの内容を確認することができます

昇順4番目ですね



ID昇順	パラメータ格納エリア
000H	Un¥G12288～Un¥G12335
008H	Un¥G12336～Un¥G12383
010H	Un¥G12384～Un¥G12431
200H	Un¥G12432～Un¥G12479
208H	Un¥G12480～Un¥G12527
210H	Un¥G12528～Un¥G12575

	ビット NO.																
デバイス	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	データ
D100	ユニット ID															200H	
D101	機器パラメータ1																
D102	機器パラメータ2																
D103	機器パラメータ3																
D104	機器パラメータ4																
D105	機器パラメータ5																
}	{																

Case5

個別にリモートユニットの機器パラメータを変更したい

- ・ ASLINKセンサのライトON/ダークONの変更
- ・ スマートLINKERの断線異常クリア指令 など

■ 基本

プログラムの流れ：

- ①パラメータアクセス設定（Un¥G10320）にて読み出しを指定
- ↓
- ②パラメータアクセス対象 ID 指定（Un¥G10321）にて ID を指定
- ↓
- ③パラメータアクセス要求指令 Y(n+1)0 を OFF→ON
- ↓
- ④パラメータアクセス完了フラグ Y(n+1)1 が ON になるのを確認して、Y(n+1)0 を ON→OFF
- ↓
- ⑤変更したい ID のパラメータ格納先メモリ番号を確認
- ↓
- ⑥確認したパラメータ格納先メモリ番号を先頭に、変更したい機器パラメータの該当バッファメモリアドレスに、変更したい値を格納
- ↓
- ⑦パラメータアクセス設定（Un¥G10320）にて書き込みを指定
- ↓
- ⑧パラメータアクセス対象 ID 指定（Un¥G10321）にて ID を指定
- ↓
- ⑨パラメータアクセス要求指令 Y(n+1)0 を OFF→ON
- ↓
- ⑩パラメータアクセス完了フラグ X(n+1)1 が ON になるのを確認して、Y(n+1)0 を ON→OFF

詳細解説ページ

「パラメータアクセス設定」	24 ページ
「パラメータアクセス対象 ID 指定」	24 ページ
「パラメータアクセス要求指令」	17 ページ
「パラメータアクセス完了フラグ」	16 ページ
「パラメータ格納先メモリ番号」	25 ページ
「パラメータ格納エリア」	27 ページ
「48 ワードの構成」	30 ページ

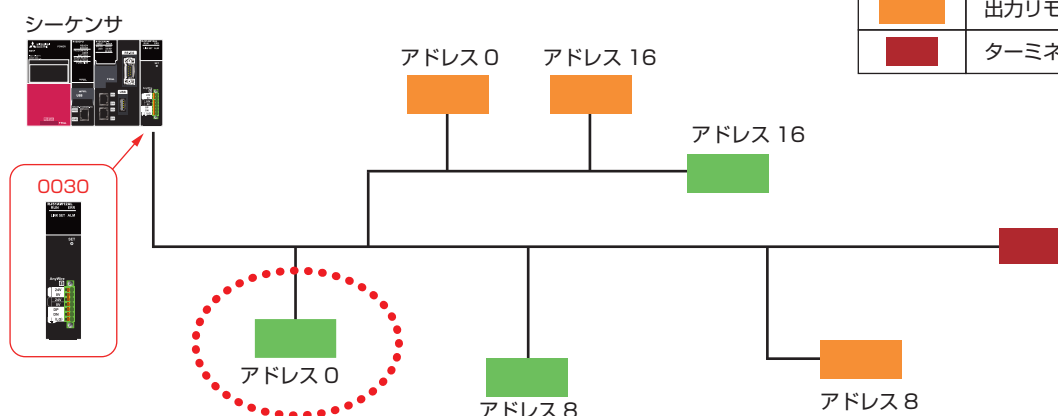
ちょっとまって、
書き込みをするのに
まず読み出しが必要
なの？！



■ 具体例

[システム構成]

マスタユニットの先頭 XY アドレス：0030
入力リモートユニット 3 台
出力リモートユニット 3 台



Task

「アドレス 0」入力リモートユニット（ASLINK センサ）の
ダーク ON 設定をライト ON に変更する場合の例を考えてみましょう

➡参考例は次ページ





Step	Condition	Action	Target	Comment
①	M0	MOV	K0	U3# G10320
③		MOV	H200	U3# G10321
④		SET	Y40	
⑤	X41	RST	Y40	
		RST	M0	
⑥	M1	MOV	U3# G11008	Z0
⑧		+	K6	Z0 → Z1
⑨		MOV	K1	U3# G0Z1
⑩		MOV	K1	U3# G10320
⑪		MOV	H200	U3# G10321
⑫		SET	Y40	
⑬	X41	RST	Y40	
		RST	M1	



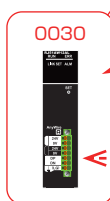
- 12

解説

シーケンサ



センサ内のパラメータ情報
読み出し



書き込む直前に一度パラメータを読み出してバッファメモリの機器パラメータ内容を最新の状態にする

U3¥G12433	機器パラメータ1(しきい値)	*
U3¥G12434	機器パラメータ2(ヒステリシス)	*
U3¥G12435	機器パラメータ3(アラームHi)	*
U3¥G12436	機器パラメータ4(アラームLo)	*
U3¥G12437	機器パラメータ5(アラーム値監視時間)	*
U3¥G12438	機器パラメータ6(ダークON/ライトON設定)	*
}	}	}
U3¥G12451	機器パラメータ19(システム予約)	*

読み出したパラメータ情報は
マスタ内のバッファメモリに
格納される

読み出し

U3¥G12433	機器パラメータ1(しきい値)	50
U3¥G12434	機器パラメータ2(ヒステリシス)	5
U3¥G12435	機器パラメータ3(アラームHi)	80
U3¥G12436	機器パラメータ4(アラームLo)	20
U3¥G12437	機器パラメータ5(アラーム値監視時間)	50
U3¥G12438	機器パラメータ6(ダークON/ライトON設定)	0
}	}	}
U3¥G12451	機器パラメータ19(システム予約)	0

これが、今のボクの中
にあるパラメータだよ
ダークONになっているよ

必要な機器パラメータの値を
変更して書き込みを実施する

U3¥G12433	機器パラメータ1(しきい値)	50
U3¥G12434	機器パラメータ2(ヒステリシス)	5
U3¥G12435	機器パラメータ3(アラームHi)	80
U3¥G12436	機器パラメータ4(アラームLo)	20
U3¥G12437	機器パラメータ5(アラーム値監視時間)	50
U3¥G12438	機器パラメータ6(ダークON/ライトON設定)	1
}	}	}
U3¥G12451	機器パラメータ19(システム予約)	0

1 ~ 19 の機器パラメータを
全て書き込み

パラメータ書き込みは、
目的の機器パラメータだけでなく、
全ての機器パラメータを更新するのね。

だから、書き込み直前に読み出しを行って、
リモートユニットとバッファメモリの内容を
一致させておく必要があるのね。

0030



センサ内のパラメータ情報
書き込み

ライトONに切り
替わったよ



補足資料（入出力信号一覧）

信号方向：マスタユニット → CPUユニット		信号方向：CPUユニット → マスタユニット	
デバイスNo.	信号名称	デバイスNo.	信号名称
Xn0	ユニット READY	Yn0	異常フラグクリア指令
Xn1	DP-DN 短絡異常	Yn1	アドレス自動認識指令
Xn2	24V-DP短絡異常	Yn2	アドレス重複検査指令
Xn3	伝送電源低下異常	Yn3~YnC	使用禁止
Xn4	DP,DN 断線異常		
Xn5~Xn7	使用禁止		
Xn8	AnyWireASLINK/バージョン 互換性検査異常 ^{※1}		
Xn9	バックアップ/リストア 未対応異常 ^{※1}		
XnA	ハンドシェイク付パラメータ アクセス対応フラグ ^{※1}		
XnB	パラメータアクセス中フラグ (ハンドシェイク付) ^{※1}	YnD	AnyWireASLINK/バージョン 互換性検査指令 ^{※1}
XnC	使用禁止		
XnD	AnyWireASLINK/バージョン 互換性検査実行中フラグ ^{※1}		
XnE	使用禁止		
XnF	調整モード実行中フラグ ^{※1}	YnE~YnF	使用禁止
X(n+1)0	リモートユニットアラーム信号	Y(n+1)0	リモートユニットパラメータ アクセス要求指令
X(n+1)1	パラメータアクセス完了フラグ	Y(n+1)1	リモートユニットパラメータ 一斉読み出し指令
X(n+1)2	パラメータアクセス異常	Y(n+1)2	リモートユニットパラメータ 一斉書き込み指令
X(n+1)3	使用禁止	Y(n+1)3~Y(n+1)F	使用禁止
X(n+1)4	アドレス自動認識フラグ		
X(n+1)5	アドレス重複検査フラグ		
X(n+1)6	リモートユニット交換中フラグ ^{※1}		
X(n+1)7	リモートユニット交換完了フラグ ^{※1}		
X(n+1)8~X(n+1)F	使用禁止		

※1 製造情報の上2桁が“03”以降のマスタユニットにて使用可能です。

“n” はASLINKマスタユニットの先頭入出力番号です。

例: ASLINKマスタユニットの先頭入出力番号が0030 の場合

Xn0 ~ X(n + 1)F → X30 ~ X4F

Yn0 ~ Y(n + 1)F → Y30 ~ Y4F

シーケンサの入出力占有点数
32点の内容ね





■ ユニットREADY (Xn0)

CPU ユニートをリセット、または電源を OFF→ON 時に、マスタユニットの準備が完了した時点で ON します。

■ DP-DN短絡異常 (Xn1) [保持型]

伝送線 (DP-DN) の短絡、または最大供給電流を超過した場合に ON します。

■ 24V-DP短絡異常 (Xn2) [保持型]

伝送線 (24V, DP) が短絡した場合に ON します。

■ 伝送電源低下異常 (Xn3) [保持型]

DC24V 外部供給電源の電圧が低下した場合に ON します。

■ DP,DN断線異常 (Xn4) [保持型]

伝送線 (DP, DN) の断線、またはリモートユニットの故障などにより、マスタユニット側でリモートユニットの応答が確認できない場合に ON します。



ワンポイント！

- ・マスタユニットの通電初期、アドレス自動認識操作を実行するまでは必ず DP,DN 断線異常が ON になります
- ・アドレス自動認識実行後に、リモートユニットのアドレスを変更した場合も DP,DN 断線異常が ON になります

■ AnyWireASLINKバージョン互換性検査異常: (Xn8) [保持型]

AnyWireASLINK バージョン互換性検査実行中に異常が発生した場合、ON します。

■ バックアップ/リストア未対応異常: (Xn9) [保持型]

バックアップ/リストア機能に対応していないCPU ユニットに対して、バックアップ/リストアを実施すると ON します。

■ ハンドシェイク付パラメータアクセス対応フラグ: (XnA)

“パラメータアクセス中フラグ (ハンドシェイク付)” (XB) に対応しているマスタユニットは、常時 ON します。

■ パラメータアクセス中フラグ(ハンドシェイク付): (XnB)

下記のいずれかの出力信号が ON して、パラメータアクセス処理が開始すると ON します。

- ・“リモートユニットパラメータアクセス要求指令”(Y10)
- ・“リモートユニットパラメータ斉読み出し指令”(Y11)
- ・“リモートユニットパラメータ斉書き込み指令”(Y12)

■ AnyWireASLINKバージョン互換性検査実行中フラグ: (XnD)

AnyWireASLINK バージョン互換性検査を開始すると ON します。

■ 調整モード実行中フラグ: (XnF)

ASLINKMONITOR による調整モード時に ON します。

調整モード時は、パラメータアクセスやリモートユニットの断線検知ができません。

■ リモートユニットアラーム信号 (X(n+1)0) [保持型]

下記の異常が発生した場合に ON します。

- ・リモートユニットのステータス異常が発生した場合 (I/O の断線、短絡などを含む)
- ・リモートユニットのアドレス設定が異常が発生した場合
- ・1 台簡単交換機能を使用時に、交換前後でリモートユニットの形名が一致しない場合

■ パラメータアクセス完了フラグ (X(n+1)1)

下記のいずれかの場合に ON→OFF し、完了すると OFF→ON します。

- ・パラメータアクセス中
- ・1 台簡単交換実行中
- ・AnyWireASLINK バージョン互換性検査実行中

■ パラメータアクセス異常 (X(n+1)2) [保持型]

パラメータアクセスでエラーが発生した場合に ON します。

■ アドレス自動認識フラグ (X(n+1)4)

アドレス自動認識を実行してから、完了するまで ON します。

■ アドレス重複検査フラグ (X(n+1)5)

アドレス重複検査を実行してから、完了するまで ON します。

■ リモートユニット交換中フラグ (X(n+1)6)

1 台簡単交換機能を使用したリモートユニットの交換に対して、交換処理を実行中に ON します。

■ リモートユニット交換完了フラグ (X(n+1)7)

1 台簡単交換機能を使用したリモートユニットの交換に対して、“リモートユニット交換中フラグ”(X16) が OFF した際に、ON します。



ワンポイント！

[保持型] のエラー情報は、異常状態を解消した後で、

- ・CPU ユニットをリセット、または電源を OFF → ON
- ・異常フラグクリア指令 (Yn0) を OFF → ON → OFF することで OFF します

■ 異常フラグクリア指令 (Yn0)

“異常フラグクリア指令”(Y0)をOFF→ONすることで、下記の入力信号およびバッファメモリをクリアします。

- DP-DN 短絡異常 (Xn1)
- 24V-DP 短絡異常 (Xn2)
- 伝送電源低下異常 (Xn3)
- DP,DN 断線異常 (Xn4)
- AnyWireASLINK バージョン互換性検査異常 (Xn8)
- バックアップ/リストア未対応異常 (Xn9)
- リモートユニットアラーム信号 (X(n+1)0)
- パラメータアクセス異常 (X(n+1)2)
- 異常 ID 個数情報 (Un¥G8192)
- 異常 ID 情報格納エリア (Un¥G8193 ~ Un¥G8320)
- 異常 ID 情報ビット展開エリア (ビット出力)(Un¥G8704 ~ Un¥G8719)
- 異常 ID 情報ビット展開エリア (ビット入力)(Un¥G8736 ~ Un¥G8751)
- 異常 ID 情報ビット展開エリア (ワード出力)(Un¥G8768 ~ Un¥G8799)
- 異常 ID 情報ビット展開エリア (ワード入力)(Un¥G8800 ~ Un¥G8831)
- アラーム ID 個数情報 (Un¥G9984)
- アラーム ID 情報格納エリア (Un¥G9985 ~ Un¥G10112)
- 最新エラーコード格納エリア (Un¥G10256)
- 最新エラー発生 ID 格納エリア (Un¥G10257)
- 補助情報エリア用イベントコード (Un¥G12096)
- 補助情報エリア (Un¥G12097 ~ Un¥G12224)

■ アドレス自動認識指令 (Yn1)

アドレス自動認識を実行する場合に ON します。

■ アドレス重複検査指令 (Yn2)

アドレス重複検査を実行する場合に ON します。

■ AnyWireASLINKバージョン互換性検査指令 (YnD)

AnyWireASLINK バージョン互換性検査を実行する場合に ON します。

■ リモートユニットパラメータアクセス要求指令 (Y(n+1)0)

マスタユニットからリモートユニットに対して、下記を行う場合に ON します。

- リモートユニットのパラメータ読み出し / 書き込みを実行
- リモートアドレス変更機能を実行



ワンポイント！

- マスタユニットの通电初期、アドレス自動認識操作を実行するまでは必ず DP,DN 断線異常が ON になります
- アドレス自動認識実行後に、リモートユニットのアドレスを変更した場合も DP,DN 断線異常が ON になります

■ リモートユニットパラメーター斉読み出し指令 (Y(n+1)1)

マスタユニットが認識しているすべてのリモートユニットのパラメータを、一斉に読み出す場合に ON します。

■ リモートユニットパラメーター斉書き込み指令 (Y(n+1)2)

マスタユニットが認識しているすべてのリモートユニットに、パラメータを一斉に書き込む場合に ON します。



補足資料 (バッファメモリー覧)

バッファメモリアドレス		項目	読み書き可否
10進数	16進数		
0～15	0H～FH	ビット入力情報エリア	読み出し専用
16～511	10H～1FFH	システム予約	—
512～1023	200H～3FFH	ワード入力情報エリア※ ¹	読み出し専用
1024～4095	400H～FFFH	システム予約	—
4096～4111	1000H～100FH	ビット出力情報エリア	読み出し/書き込み可
4112～4607	1010H～11FFH	システム予約	—
4608～5119	1200H～13FFH	ワード出力情報エリア※ ¹	読み出し/書き込み可
5120～8191	1400H～1FFFH	システム予約	—
8192	2000H	異常ID個数情報	読み出し専用
8193～8320	2001H～2080H	異常ID情報格納エリア	読み出し専用
8321～8703	2081H～21FFH	システム予約	—
8704～8719	2200H～220FH	異常ID情報bit展開エリア(ビット出力)	読み出し専用
8720～8735	2210H～221FH	システム予約	—
8736～8751	2220H～222FH	異常ID情報bit展開エリア(ビット入力)	読み出し専用
8752～8767	2230H～223FH	システム予約	—
8768～8799	2240H～225FH	異常ID情報bit展開エリア(ワード出力)※ ¹	読み出し専用
8800～8831	2260H～227FH	異常ID情報bit展開エリア(ワード入力)※ ¹	読み出し専用
8832～8959	2280H～22FFH	システム予約	—
8960	2300H	接続台数情報	読み出し専用
8961～9215	2301H～23FFH	システム予約	—
9216	2400H	接続ID個数情報	読み出し専用
9217～9344	2401H～2480H	接続ID情報格納エリア	読み出し専用
9345～9983	2481H～26FFH	システム予約	—
9984	2700H	アラームID個数情報	読み出し専用
9985～10112	2701H～2780H	アラームID情報格納エリア	読み出し専用
10113～10255	2781H～280FH	システム予約	—
10256	2810H	最新エラーコード格納エリア	読み出し専用
10257	2811H	最新エラー発生ID格納エリア	読み出し専用
10258～10319	2812H～284FH	システム予約	—
10320	2850H	パラメータアクセス設定	読み出し/書き込み可
10321	2851H	パラメータアクセス対象ID指定	読み出し/書き込み可
10322	2852H	システム予約	—
10323	2853H	変更ID指定	読み出し/書き込み可
10324～10495	2854H～28FFH	システム予約	—
10496～10751	2900H～29FFH	パラメータ格納先メモリ番号(ビット出力)	読み出し専用
10752～11007	2A00H～2AFFH	システム予約	—
11008～11263	2B00H～2BFFH	パラメータ格納先メモリ番号(ビット入力)	読み出し専用
11264～12095	2C00H～2FFFH	システム予約	—
12096	2F40H	補助情報エリア用イベントコード※ ¹	読み出し専用
12097～12224	2F41H～2FC0H	補助情報エリア※ ¹	読み出し専用
12225～12287	2FC1H～2FFFH	システム予約	—
12288～18431	3000H～47FFH	パラメータ格納エリア	読み出し/書き込み可
18432～19455	4800H～4BFFH	システム予約	—
19456～19967	4C00H～4DFFH	パラメータ格納先メモリ番号(ワード出力)※ ¹	読み出し専用
19968～20479	4E00H～4FFFH	パラメータ格納先メモリ番号(ワード入力)※ ¹	読み出し専用

バッファメモリアドレス		項目	読み書き可否
10進数	16進数		
20480～31487	5000H～7AFFH	システム予約	—
31488	7B00H	ワードデータ点数設定※1	読み出し/書き込み可
31489	7B01H	システム予約	—
31490	7B02H	ワードデータ開始アドレス設定※1	読み出し/書き込み可
31491	7B03H	システム予約	—
31492	7B04H	1フレームあたりのワードデータ点数設定※1	読み出し/書き込み可
31493	7B05H	ワードデータサイクル数設定※1	読み出し/書き込み可
31494～32767	7B06H～7FFFH	システム予約	—

※1 製造情報の上2桁が "03" 以降のマスタユニットにて使用可能です。

本書では、10進数でUn¥G□のように解説しています。

例: Un¥G8192(異常ID個数情報)

"n" はASLINKマスタユニットの先頭入出力番号です。

ASLINKマスタユニットの先頭入出力番号が0030 の場合、
U3¥G8192 となります。



補足資料（バッファメモリ詳細）

■ 異常ID個数情報（Un¥G8192）

接続 ID のうち、伝送線（DP,DN）の断線やリモートユニットの故障などにより、マスタユニット側に対して応答がない異常 ID の個数が格納されます。



ワンポイント！

- ・パラメータアクセス異常についても、異常 ID 個数の対象になります
- ・アドレス自動認識実行後、異常を検知した時点でデータ更新します

■ 異常ID情報格納エリア（Un¥G8193～8320）

伝送線（DP,DN）断線異常と、パラメータアクセス異常の対象となったリモートユニットの ID が昇順に格納させます。



ワンポイント！

- ・パラメータアクセス異常についても、異常 ID 個数の対象になります
- ・アドレス自動認識実行後、異常を検知した時点でデータ更新します

■ 異常ID情報bit展開エリア（ビット出力）(Un¥G8704～Un¥G8719)

ビット出力リモートユニットに対応している異常IDのビットがONします。

アドレス※1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
Un¥G8704	FH	EH	DH	CH	BH	AH	9H	8H	7H	6H	5H	4H	3H	2H	1H	0H
Un¥G8705	1FH	1EH	1DH	1CH	1BH	1AH	19H	18H	17H	16H	15H	14H	13H	12H	11H	10H
Un¥G8706	2FH	2EH	2DH	2CH	2BH	2AH	29H	28H	27H	26H	25H	24H	23H	22H	21H	20H
Un¥G8707	3FH	3EH	3DH	3CH	3BH	3AH	39H	38H	37H	36H	35H	34H	33H	32H	31H	30H
Un¥G8708	4FH	4EH	4DH	4CH	4BH	4AH	49H	48H	47H	46H	45H	44H	43H	42H	41H	40H
Un¥G8709	5FH	5EH	5DH	5CH	5BH	5AH	59H	58H	57H	56H	55H	54H	53H	52H	51H	50H
Un¥G8710	6FH	6EH	6DH	6CH	6BH	6AH	69H	68H	67H	66H	65H	64H	63H	62H	61H	60H
Un¥G8711	7FH	7EH	7DH	7CH	7BH	7AH	79H	78H	77H	76H	75H	74H	73H	72H	71H	70H
Un¥G8712	8FH	8EH	8DH	8CH	8BH	8AH	89H	88H	87H	86H	85H	84H	83H	82H	81H	80H
Un¥G8713	9FH	9EH	9DH	9CH	9BH	9AH	99H	98H	97H	96H	95H	94H	93H	92H	91H	90H
Un¥G8714	AFH	AEH	ADH	ACH	ABH	AAH	A9H	A8H	A7H	A6H	A5H	A4H	A3H	A2H	A1H	A0H
Un¥G8715	BFH	BEH	BDH	BCH	BBH	BAH	B9H	B8H	B7H	B6H	B5H	B4H	B3H	B2H	B1H	B0H
Un¥G8716	CFH	CEH	CDH	CCH	CBH	CAH	C9H	C8H	C7H	C6H	C5H	C4H	C3H	C2H	C1H	C0H
Un¥G8717	DFH	DEH	DDH	DCH	DBH	DAH	D9H	D8H	D7H	D6H	D5H	D4H	D3H	D2H	D1H	D0H
Un¥G8718	EFH	EEH	EDH	ECH	EBH	EAH	E9H	E8H	E7H	E6H	E5H	E4H	E3H	E2H	E1H	E0H
Un¥G8719	FFH	FEH	FDH	FCH	FBH	FAH	F9H	F8H	F7H	F6H	F5H	F4H	F3H	F2H	F1H	F0H

※1 表内の数値はリモートユニットのIDを示します。

例) 異常対象がアドレス32 (ID0020H) のビット出力リモートユニットの場合、Un¥G8706のb0がONします。

■ 異常ID情報bit展開エリア（ビット入力）(Un¥G8736～Un¥G8751)

ビット入力リモートユニット、またはビット入出力混合リモートユニットに対応している異常IDのビットがONします。

アドレス※1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
Un¥G8736	20FH	20EH	20DH	20CH	20BH	20AH	209H	208H	207H	206H	205H	204H	203H	202H	201H	200H
Un¥G8737	21FH	21EH	21DH	21CH	21BH	21AH	219H	218H	217H	216H	215H	214H	213H	212H	211H	210H
Un¥G8738	22FH	22EH	22DH	22CH	22BH	22AH	229H	228H	227H	226H	225H	224H	223H	222H	221H	220H
Un¥G8739	23FH	23EH	23DH	23CH	23BH	23AH	239H	238H	237H	236H	235H	234H	233H	232H	231H	230H
Un¥G8740	24FH	24EH	24DH	24CH	24BH	24AH	249H	248H	247H	246H	245H	244H	243H	242H	241H	240H
Un¥G8741	25FH	25EH	25DH	25CH	25BH	25AH	259H	258H	257H	256H	255H	254H	253H	252H	251H	250H
Un¥G8742	26FH	26EH	26DH	26CH	26BH	26AH	269H	268H	267H	266H	265H	264H	263H	262H	261H	260H
Un¥G8743	27FH	27EH	27DH	27CH	27BH	27AH	279H	278H	277H	276H	275H	274H	273H	272H	271H	270H
Un¥G8744	28FH	28EH	28DH	28CH	28BH	28AH	289H	288H	287H	286H	285H	284H	283H	282H	281H	280H
Un¥G8745	29FH	29EH	29DH	29CH	29BH	29AH	299H	298H	297H	296H	295H	294H	293H	292H	291H	290H
Un¥G8746	2AFH	2AEH	2ADH	2ACH	2ABH	2AAH	2A9H	2A8H	2A7H	2A6H	2A5H	2A4H	2A3H	2A2H	2A1H	2A0H
Un¥G8747	2BFH	2BEH	2BDH	2BCH	2BBH	2BAH	2B9H	2B8H	2B7H	2B6H	2B5H	2B4H	2B3H	2B2H	2B1H	2B0H
Un¥G8748	2CFH	2CEH	2CDH	2CCH	2CBH	2CAH	2C9H	2C8H	2C7H	2C6H	2C5H	2C4H	2C3H	2C2H	2C1H	2C0H
Un¥G8749	2DFH	2DEH	2DDH	2DCH	2DBH	2DAH	2D9H	2D8H	2D7H	2D6H	2D5H	2D4H	2D3H	2D2H	2D1H	2D0H
Un¥G8750	2EFH	2EEH	2EDH	2ECH	2EBH	2EAH	2E9H	2E8H	2E7H	2E6H	2E5H	2E4H	2E3H	2E2H	2E1H	2E0H
Un¥G8751	2FFH	2FEH	2FDH	2FCH	2FBH	2FAH	2F9H	2F8H	2F7H	2F6H	2F5H	2F4H	2F3H	2F2H	2F1H	2F0H

※1 表内の数値はリモートユニットのIDを示します。

例) 異常対象がアドレス32 (ID0220H) のビット入力リモートユニットの場合、Un¥G8738のb0がONします。

■ 異常ID情報bit展開エリア（ワード出力）(Un¥G8768～Un¥G8799)

ワード出力リモートユニットに対応している異常IDのビットがONします。

アドレス※1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
Un¥G8768	40FH	40EH	40DH	40CH	40BH	40AH	409H	408H	407H	406H	405H	404H	403H	402H	401H	400H
Un¥G8769	41FH	41EH	41DH	41CH	41BH	41AH	419H	418H	417H	416H	415H	414H	413H	412H	411H	410H
Un¥G8770	42FH	42EH	42DH	42CH	42BH	42AH	429H	428H	427H	426H	425H	424H	423H	422H	421H	420H
Un¥G8771	43FH	43EH	43DH	43CH	43BH	43AH	439H	438H	437H	436H	435H	434H	433H	432H	431H	430H
Un¥G8772	44FH	44EH	44DH	44CH	44BH	44AH	449H	448H	447H	446H	445H	444H	443H	442H	441H	440H
Un¥G8773	45FH	45EH	45DH	45CH	45BH	45AH	459H	458H	457H	456H	455H	454H	453H	452H	451H	450H
Un¥G8774	46FH	46EH	46DH	46CH	46BH	46AH	469H	468H	467H	466H	465H	464H	463H	462H	461H	460H
Un¥G8775	47FH	47EH	47DH	47CH	47BH	47AH	479H	478H	477H	476H	475H	474H	473H	472H	471H	470H
Un¥G8776	48FH	48EH	48DH	48CH	48BH	48AH	489H	488H	487H	486H	485H	484H	483H	482H	481H	480H
Un¥G8777	49FH	49EH	49DH	49CH	49BH	49AH	499H	498H	497H	496H	495H	494H	493H	492H	491H	490H
Un¥G8778	4AFH	4AEH	4ADH	4ACH	4ABH	4AAH	4A9H	4A8H	4A7H	4A6H	4A5H	4A4H	4A3H	4A2H	4A1H	4A0H
Un¥G8779	4BFH	4BEH	4BDH	4BCH	4BBH	4BAH	4B9H	4B8H	4B7H	4B6H	4B5H	4B4H	4B3H	4B2H	4B1H	4B0H
Un¥G8780	4CFH	4CEH	4CDH	4CCH	4CBH	4CAH	4C9H	4C8H	4C7H	4C6H	4C5H	4C4H	4C3H	4C2H	4C1H	4C0H
Un¥G8781	4DFH	4DEH	4DDH	4DCH	4DBH	4DAH	4D9H	4D8H	4D7H	4D6H	4D5H	4D4H	4D3H	4D2H	4D1H	4D0H
Un¥G8782	4EFH	4EEH	4EDH	4ECH	4EBH	4EAH	4E9H	4E8H	4E7H	4E6H	4E5H	4E4H	4E3H	4E2H	4E1H	4E0H
Un¥G8783	4FFH	4FEH	4FDH	4FCH	4FBH	4FAH	4F9H	4F8H	4F7H	4F6H	4F5H	4F4H	4F3H	4F2H	4F1H	4F0H
Un¥G8784	50FH	50EH	50DH	50CH	50BH	50AH	509H	508H	507H	506H	505H	504H	503H	502H	501H	500H
Un¥G8785	51FH	51EH	51DH	51CH	51BH	51AH	519H	518H	517H	516H	515H	514H	513H	512H	511H	510H
Un¥G8786	52FH	52EH	52DH	52CH	52BH	52AH	529H	528H	527H	526H	525H	524H	523H	522H	521H	520H
Un¥G8787	53FH	53EH	53DH	53CH	53BH	53AH	539H	538H	537H	536H	535H	534H	533H	532H	531H	530H
Un¥G8788	54FH	54EH	54DH	54CH	54BH	54AH	549H	548H	547H	546H	545H	544H	543H	542H	541H	540H
Un¥G8789	55FH	55EH	55DH	55CH	55BH	55AH	559H	558H	557H	556H	555H	554H	553H	552H	551H	550H
Un¥G8790	56FH	56EH	56DH	56CH	56BH	56AH	569H	568H	567H	566H	565H	564H	563H	562H	561H	560H
Un¥G8791	57FH	57EH	57DH	57CH	57BH	57AH	579H	578H	577H	576H	575H	574H	573H	572H	571H	570H
Un¥G8792	58FH	58EH	58DH	58CH	58BH	58AH	589H	588H	587H	586H	585H	584H	583H	582H	581H	580H
Un¥G8793	59FH	59EH	59DH	59CH	59BH	59AH	599H	598H	597H	596H	595H	594H	593H	592H	591H	590H
Un¥G8794	5AFH	5AEH	5ADH	5ACH	5ABH	5AAH	5A9H	5A8H	5A7H	5A6H	5A5H	5A4H	5A3H	5A2H	5A1H	5A0H
Un¥G8795	5BFH	5BEH	5BDH	5BCH	5BBH	5BAH	5B9H	5B8H	5B7H	5B6H	5B5H	5B4H	5B3H	5B2H	5B1H	5B0H
Un¥G8796	5CFH	5CEH	5CDH	5CCH	5CBH	5CAH	5C9H	5C8H	5C7H	5C6H	5C5H	5C4H	5C3H	5C2H	5C1H	5C0H
Un¥G8797	5DFH	5DEH	5DDH	5DCH	5DBH	5DAH	5D9H	5D8H	5D7H	5D6H	5D5H	5D4H	5D3H	5D2H	5D1H	5D0H
Un¥G8798	5EFH	5EEH	5EDH	5ECH	5EBH	5EAH	5E9H	5E8H	5E7H	5E6H	5E5H	5E4H	5E3H	5E2H	5E1H	5E0H
Un¥G8799	5FFH	5FEH	5FDH	5FCH	5FBH	5FAH	5F9H	5F8H	5F7H	5F6H	5F5H	5F4H	5F3H	5F2H	5F1H	5F0H

※1 表内の数値はリモートユニットのIDを示します。

例) 異常対象がアドレス32 (ID0420H) のワード出力リモートユニットの場合、Un¥G8770のb0がONします。

■ 異常ID情報bit展開エリア（ワード入力）(Un¥G8800～Un¥G8831)

ワード入力リモートユニットに対応している異常IDのビットがONします。

アドレス※1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
Un¥G8800	60FH	60EH	60DH	60CH	60BH	60AH	609H	608H	607H	606H	605H	604H	603H	602H	601H	600H
Un¥G8801	61FH	61EH	61DH	61CH	61BH	61AH	619H	618H	617H	616H	615H	614H	613H	612H	611H	610H
Un¥G8802	62FH	62EH	62DH	62CH	62BH	62AH	629H	628H	627H	626H	625H	624H	623H	622H	621H	620H
Un¥G8803	63FH	63EH	63DH	63CH	63BH	63AH	639H	638H	637H	636H	635H	634H	633H	632H	631H	630H
Un¥G8804	64FH	64EH	64DH	64CH	64BH	64AH	649H	648H	647H	646H	645H	644H	643H	642H	641H	640H
Un¥G8805	65FH	65EH	65DH	65CH	65BH	65AH	659H	658H	657H	656H	655H	654H	653H	652H	651H	650H
Un¥G8806	66FH	66EH	66DH	66CH	66BH	66AH	669H	668H	667H	666H	665H	664H	663H	662H	661H	660H
Un¥G8807	67FH	67EH	67DH	67CH	67BH	67AH	679H	678H	677H	676H	675H	674H	673H	672H	671H	670H
Un¥G8808	68FH	68EH	68DH	68CH	68BH	68AH	689H	688H	687H	686H	685H	684H	683H	682H	681H	680H
Un¥G8809	69FH	69EH	69DH	69CH	69BH	69AH	699H	698H	697H	696H	695H	694H	693H	692H	691H	690H
Un¥G8810	6AFH	6AEH	6ADH	6ACH	6ABH	6AAH	6A9H	6A8H	6A7H	6A6H	6A5H	6A4H	6A3H	6A2H	6A1H	6A0H
Un¥G8811	6BFH	6BEH	6BDH	6BCH	6BBH	6BAH	6B9H	6B8H	6B7H	6B6H	6B5H	6B4H	6B3H	6B2H	6B1H	6B0H
Un¥G8812	6CFH	6CEH	6CDH	6CCH	6CBH	6CAH	6C9H	6C8H	6C7H	6C6H	6C5H	6C4H	6C3H	6C2H	6C1H	6C0H
Un¥G8813	6DFH	6DEH	6DDH	6DCH	6DBH	6DAH	6D9H	6D8H	6D7H	6D6H	6D5H	6D4H	6D3H	6D2H	6D1H	6D0H
Un¥G8814	6EFH	6EEH	6EDH	6ECH	6EBH	6EAH	6E9H	6E8H	6E7H	6E6H	6E5H	6E4H	6E3H	6E2H	6E1H	6E0H
Un¥G8815	6FFH	6FEH	6FDH	6FCH	6FBH	6FAH	6F9H	6F8H	6F7H	6F6H	6F5H	6F4H	6F3H	6F2H	6F1H	6F0H
Un¥G8816	70FH	70EH	70DH	70CH	70BH	70AH	709H	708H	707H	706H	705H	704H	703H	702H	701H	700H
Un¥G8817	71FH	71EH	71DH	71CH	71BH	71AH	719H	718H	717H	716H	715H	714H	713H	712H	711H	710H
Un¥G8818	72FH	72EH	72DH	72CH	72BH	72AH	729H	728H	727H	726H	725H	724H	723H	722H	721H	720H
Un¥G8819	73FH	73EH	73DH	73CH	73BH	73AH	739H	738H	737H	736H	735H	734H	733H	732H	731H	730H
Un¥G8820	74FH	74EH	74DH	74CH	74BH	74AH	749H	748H	747H	746H	745H	744H	743H	742H	741H	740H
Un¥G8821	75FH	75EH	75DH	75CH	75BH	75AH	759H	758H	757H	756H	755H	754H	753H	752H	751H	750H
Un¥G8822	76FH	76EH	76DH	76CH	76BH	76AH	769H	768H	767H	766H	765H	764H	763H	762H	761H	760H
Un¥G8823	77FH	77EH	77DH	77CH	77BH	77AH	779H	778H	777H	776H	775H	774H	773H	772H	771H	770H
Un¥G8824	78FH	78EH	78DH	78CH	78BH	78AH	789H	788H	787H	786H	785H	784H	783H	782H	781H	780H
Un¥G8825	79FH	79EH	79DH	79CH	79BH	79AH	799H	798H	797H	796H	795H	794H	793H	792H	791H	790H
Un¥G8826	7AFH	7AEH	7ADH	7ACH	7ABH	7AAH	7A9H	7A8H	7A7H	7A6H	7A5H	7A4H	7A3H	7A2H	7A1H	7A0H
Un¥G8827	7BFH	7BEH	7BDH	7BCH	7BBH	7BAH	7B9H	7B8H	7B7H	7B6H	7B5H	7B4H	7B3H	7B2H	7B1H	7B0H
Un¥G8828	7CFH	7CEH	7CDH	7CCH	7CBH	7CAH	7C9H	7C8H	7C7H	7C6H	7C5H	7C4H	7C3H	7C2H	7C1H	7C0H
Un¥G8829	7DFH	7DEH	7DDH	7DCH	7DBH	7DAH	7D9H	7D8H	7D7H	7D6H	7D5H	7D4H	7D3H	7D2H	7D1H	7D0H
Un¥G8830	7EFH	7EEH	7EDH	7ECH	7EBH	7EAH	7E9H	7E8H	7E7H	7E6H	7E5H	7E4H	7E3H	7E2H	7E1H	7E0H
Un¥G8831	7FFH	7FEH	7FDH	7FCH	7FBH	7FAH	7F9H	7F8H	7F7H	7F6H	7F5H	7F4H	7F3H	7F2H	7F1H	7F0H

※1 表内の数値はリモートユニットのIDを示します。

例) 異常対象がアドレス32 (ID0620H) のワード入力リモートユニットの場合、Un¥G8802のb0がONします。

■ 接続台数情報 (Un¥G8960)

アドレス自動認識により確認されたリモートユニット台数が格納されます。(最大 128 台)

■ 接続ID個数情報 (Un¥G9216)

アドレス自動認識により、接続IDの個数が格納されます。(最大128個)
格納されたIDの個数は、電源をOFFしても保持されます。

■ 接続ID情報格納エリア (Un¥G9217~9344)

マスタユニットに接続されているすべてのリモートユニットのIDが昇順で格納されます。

■ アラームID個数情報 (Un¥G9984) [保持型]

リモートユニットステータス異常、またはリモートユニットの ID やパラメータの設定異常が発生した場合、アラームが発生している ID の個数が格納されます。(最大128台)



ワンポイント！

- ・パラメータアクセス異常についても、異常 ID 個数の対象になります
- ・アドレス自動認識実行後、異常を検知した時点でデータ更新します

■ アラームID情報格納エリア (Un¥G9985~10112) [保持型]

伝送線 (DP,DN) 断線異常と、パラメータアクセス異常の対象となったリモートユニットの ID が昇順に格納されます。



ワンポイント！

- ・パラメータアクセス異常についても、異常 ID 個数の対象になります
- ・アドレス自動認識実行後、異常を検知した時点でデータ更新します

■ 最新エラーコード格納エリア (Un¥G10256)

マスタユニットで検出した最新のエラーコードが格納されます。エラーコードの詳細は下記を参照してください。

■ 最新エラー発生ID格納エリア (Un¥G10257)

“最新エラーコード格納エリア” (Un¥G10256) に格納されたエラーコードの対象となるIDが格納されます。

■ パラメータアクセス設定 (Un¥G10320)

パラメータアクセス方法を指定します。

000H：読み出し (リモートユニット → マスタユニット)
001H：書き込み (マスタユニット → リモートユニット)
002H：リモートアドレス変更 (マスタユニット → リモートユニット)



ワンポイント！

- ・上記以外の値が格納された場合は読み出しになります。
- ・リモートユニット用パラメータアクセス要求指令をOFF→ONで実行します。
- ・パラメーター斉読み出し、パラメーター斉書き込みを実行した場合、この値は無視されます。

■ パラメータアクセス対象ID指定 (Un¥G10321)

個別のリモートユニットに対してパラメータアクセスする時の、対象リモートユニット ID をここで指定します。



ワンポイント！

- ・指定できる個別のリモートユニットは 1 台です。複数のリモートユニットを指定することはできません。
- ・パラメーター斉読み出し、パラメーター斉書き込みを実行した場合、この値は無視されます。

■ 変更ID指定 (Un¥G10323)

リモートアドレス変更機能にて、変更先のID(アドレス)を指定します。



ワンポイント！

- ・指定できる個別のリモートユニットは 1 台です。複数のリモートユニットを指定することはできません。
- ・パラメーター斉読み出し、パラメーター斉書き込みを実行した場合、この値は無視されます。

■ パラメータ格納先メモリ番号 (ビット出力)(Un¥G10496～10751)

出力リモートユニットそれぞれの ID に対応するパラメータ格納エリアの先頭バッファメモリアドレスが格納されます。

バッファメモリ アドレス	詳細	リモートユニットの アドレス
Un¥G10496	ID 000H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	0
Un¥G10497	ID 001H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	1
Un¥G10498	ID 002H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	2
}	}	}
Un¥G10750	ID 0FEH のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	254
Un¥G10751	システム予約	255

例えば

出力リモートユニット アドレス 10 (ID 00AH) のパラメータ格納先は、Un¥G10506 を確認することで分かります。



ワンポイント！

- ・アドレス自動認識によってマスタユニットに登録されたIDのパラメータ格納先メモリ番号に、それぞれ値が格納されます。
- ・マスタユニットに登録されていない（存在しない）IDのパラメータ格納先メモリ番号には「0」が格納されます。

■ パラメータ格納先メモリ番号 (ビット入力)(Un¥G11008～11263)

入力または入出力混合リモートユニットそれぞれの ID に対応するパラメータ格納エリアの先頭バッファメモリアドレスが格納されます。

バッファメモリ アドレス	詳細	リモートユニットの アドレス
Un¥G11008	ID 200H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	0
Un¥G11009	ID 201H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	1
Un¥G11010	ID 202H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	2
}	}	}
Un¥G11262	ID 2FEH のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	254
Un¥G11263	システム予約	255

例えば

入力リモートユニット アドレス 10 (ID 20AH) のパラメータ格納先は、Un¥G110018 を確認することで分かります。



ワンポイント！

- ・アドレス自動認識によってマスタユニットに登録されたIDのパラメータ格納先メモリ番号に、それぞれ値が格納されます。
- ・マスタユニットに登録されていない（存在しない）IDのパラメータ格納先メモリ番号には「0」が格納されます。

■ パラメータ格納先メモリ番号（ワード出力）(Un¥G19456～19967)

出力リモートユニットそれぞれの ID に対応するパラメータ格納エリアの先頭バッファメモリアドレスが格納されます。

バッファメモリ アドレス	詳細	リモートユニットの アドレス
Un¥G19456	ID 400H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	0
Un¥G19457	ID 401H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	1
Un¥G19458	ID 402H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	2
}	}	}
Un¥G19966	ID 5FEH のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	510
Un¥G19967	システム予約	511

例えば

出力リモートユニット アドレス 10 (ID 40AH) のパラメータ格納先は、Un¥G19466 を確認することで分かります。



ワンポイント！

- ・アドレス自動認識によってマスタユニットに登録されたIDのパラメータ格納先メモリ番号に、それぞれ値が格納されます。
- ・マスタユニットに登録されていない（存在しない）IDのパラメータ格納先メモリ番号には「0」が格納されます。

■ パラメータ格納先メモリ番号（ワード入力）(Un¥G19968～20479)

入力または入出力混合リモートユニットそれぞれの ID に対応するパラメータ格納エリアの先頭バッファメモリアドレスが格納されます。

バッファメモリ アドレス	詳細	リモートユニットの アドレス
Un¥G19968	ID 600H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	0
Un¥G19969	ID 601H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	1
Un¥G19970	ID 602H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	2
}	}	}
Un¥G20478	ID 7FEH のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	510
Un¥G20479	システム予約	511

例えば

入力リモートユニット アドレス 10 (ID 60AH) のパラメータ格納先は、Un¥G19978 を確認することで分かります。



ワンポイント！

- ・アドレス自動認識によってマスタユニットに登録されたIDのパラメータ格納先メモリ番号に、それぞれ値が格納されます。
- ・マスタユニットに登録されていない（存在しない）IDのパラメータ格納先メモリ番号には「0」が格納されます。

■ 補助情報エリア用イベントコード（Un¥G12096）

マスタユニットで検出した最新のイベントコードが格納されます。イベントコードの詳細は下記を参照してください。

■ 補助情報エリア（Un¥G12097～Un¥G12224）

補助情報エリア用イベントコード（Un¥G12096）に格納されたイベントコードの対象IDのビットがONします。

アドレス※1	b15	b14	b13	b12	b11	b10	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
Un¥G12097	FH	EH	DH	CH	BH	AH	9H	8H	7H	6H	5H	4H	3H	2H	1H	0H
Un¥G12098	1FH	1EH	1DH	1CH	1BH	1AH	19H	18H	17H	16H	15H	14H	13H	12H	11H	10H
⋮	⋮															
Un¥G12223	7EFH	7EEH	7EDH	7ECH	7EBH	7EAH	7E9H	7E8H	7E7H	7E6H	7E5H	7E4H	7E3H	7E2H	7E1H	7E0H
Un¥G12224	7FFH	7FEH	7FDH	7FCH	7FBH	7FAH	7F9H	7F8H	7F7H	7F6H	7F5H	7F4H	7F3H	7F2H	7F1H	7F0H

※1 表内の数値はリモートユニットのIDを示します。

■ パラメータ格納エリア (Un¥G12288~18431)

AnyWireASLINK のパラメータ情報をやり取りするために使用するエリアです。

ワンポイント！

- ・全てのリモートユニット共通で、1 リモートユニットにつき 48 ワードを使用します。※48 ワードの詳細は 22 ページ
- ・アドレス自動認識操作によってマスタユニットに登録されたリモートユニット (ID) だけが、このエリアを使ってパラメータ情報のやり取りを行うことが可能になります。
- ・システム立ち上げ時や、リモートユニットの追加、リモートユニットの アドレス の変更など実施した場合は、必ずアドレス自動認識を実行してください。
- ・48 ワードを 1 つの格納エリアとして、ID の昇順にデータが並びます。

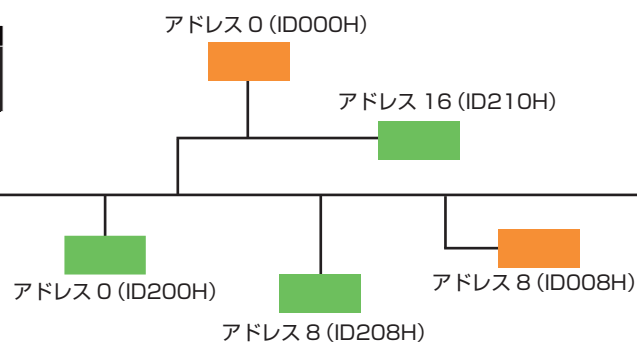
バッファメモリアドレス	マスタユニットに登録されたID昇順
Un¥G12288~Un¥G12335	1 番目のリモートユニット(48ワード)
Un¥G12336~Un¥G12383	2 番目のリモートユニット(48ワード)
}	}
Un¥G18336~Un¥G18383	127 番目のリモートユニット(48ワード)
Un¥G18384~Un¥G18431	128 番目のリモートユニット(48ワード)

マスタユニットに登録された ID の昇順にデータが並ぶということは、同じ ID でもシステムによって格納位置が変わるということか！！これはよく理解しておく必要があるな。ふむふむ…



例えば…

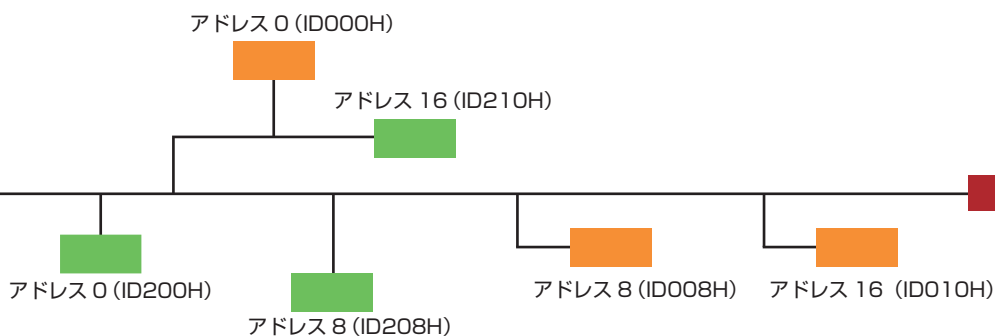
シーケンサ



記 号	意 味
■	入力リモートユニット
■	出力リモートユニット
■	ターミネータ

ID昇順	パラメータ格納エリア
000H	Un¥G12288~Un¥G12335
008H	Un¥G12336~Un¥G12383
200H	Un¥G12384~Un¥G12431
208H	Un¥G12432~Un¥G12479
210H	Un¥G12480~Un¥G12527

シーケンサ



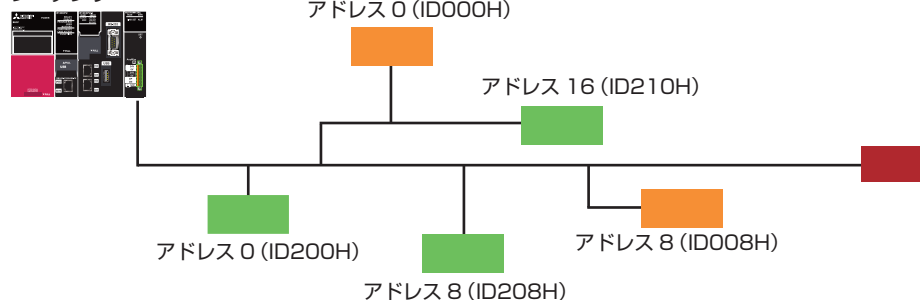
ID昇順	パラメータ格納エリア
000H	Un¥G12288~Un¥G12335
008H	Un¥G12336~Un¥G12383
010H	Un¥G12384~Un¥G12431
200H	Un¥G12432~Un¥G12479
208H	Un¥G12480~Un¥G12527
210H	Un¥G12528~Un¥G12575



立ち上げ時のシステム構成で、バッファメモリアドレスを決めうちすることもできるけど、改造などを想定すると、パラメータ読み書きの前には、一度パラメータ格納先メモリ番号を確認するプログラムにしておいた方がよさそうですね ♥

では、パラメータ格納先メモリ番号と合わせて見てみましょう

シーケンサ



記 号	意 味
■	入力リモートユニット
■	出力リモートユニット
■	ターミネータ

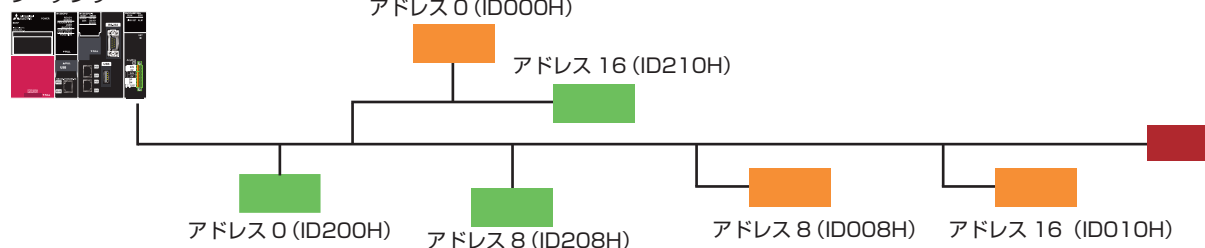
パラメータ格納先メモリ番号(出力)	内容	格納される値
Un¥G110496	ID000H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12288
}	}	}
Un¥G110504	ID008H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12336
}	}	}

パラメータ格納エリア
Un¥G12288~Un¥G12335
}
Un¥G12336~Un¥G12383
}

パラメータ格納先メモリ番号(入力)	内容	格納される値
Un¥G111008	ID200H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12384
}	}	}
Un¥G111016	ID208H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12432
}	}	}
Un¥G111024	ID210H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12480
}	}	}

パラメータ格納エリア
Un¥G12384~Un¥G12431
}
Un¥G12432~Un¥G12479
}
Un¥G12480~Un¥G12527
}

シーケンサ



パラメータ格納先メモリ番号(出力)	内容	格納される値
Un¥G110496	ID000H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12288
}	}	}
Un¥G110504	ID008H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12336
}	}	}
Un¥G110512	ID010H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12384
}	}	}

パラメータ格納エリア
Un¥G12288~Un¥G12335
}
Un¥G12336~Un¥G12383
}
Un¥G12384~Un¥G12431
}

パラメータ格納先メモリ番号(入力)	内容	格納される値
Un¥G111008	ID200H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12432
}	}	}
Un¥G111016	ID208H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12480
}	}	}
Un¥G111024	ID210H のパラメータ格納エリア先頭バッファメモリアドレス	12528
}	}	}

パラメータ格納エリア
Un¥G12432~Un¥G12479
}
Un¥G12480~Un¥G12527
}
Un¥G12528~Un¥G12575
}

■ 48ワードの構成

バッファメモリ アドレス	ビットNo.																読み出し／ 書き込み	パラメータ名称
	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0		
Un¥G12288	ユニット ID																読み出し (リモートユニット→ マスタユニット)	AnyWireASLINK パラメータ
Un¥G12289	機器パラメータ1																読み出し／書き込み (マスタユニット→ リモートユニット)	機器パラメータ
Un¥G12290	機器パラメータ2																	
Un¥G12291	機器パラメータ3																	
Un¥G12292	機器パラメータ4																	
Un¥G12293	機器パラメータ5																	
Un¥G12294	機器パラメータ6																	
Un¥G12295	機器パラメータ7																	
Un¥G12296	機器パラメータ8																	
Un¥G12297	機器パラメータ9																	
Un¥G12298	機器パラメータ10																	
Un¥G12299	機器パラメータ11																	
Un¥G12300	機器パラメータ12																	
Un¥G12301	機器パラメータ13																	
Un¥G12302	機器パラメータ14																	
Un¥G12303	機器パラメータ15																	
Un¥G12304	機器パラメータ16																	
Un¥G12305	機器パラメータ17																	
Un¥G12306	機器パラメータ18																	
Un¥G12307	機器パラメータ19																	
Un¥G12308	機器パラメータ1																読み出し (リモートユニット→ マスタユニット)	
Un¥G12309	機器パラメータ2																	
Un¥G12310	機器パラメータ3																	
Un¥G12311	機器パラメータ4																	
Un¥G12312	機器パラメータ5																	
Un¥G12313	機器パラメータ6																	
Un¥G12314	機器パラメータ7																	
Un¥G12315	機器パラメータ8																	
Un¥G12316	機器パラメータ9																	
Un¥G12317	機器パラメータ10																	
Un¥G12318	機器パラメータ11																	
Un¥G12319	機器パラメータ12																	
Un¥G12320	機器パラメータ13																	
Un¥G12321	機器パラメータ14																	
Un¥G12322	機器パラメータ15																	
Un¥G12323	機器パラメータ16																	
Un¥G12324	機器パラメータ17																	
Un¥G12325	機器パラメータ18																	
Un¥G12326	機器パラメータ19																	
Un¥G12327	ステータス詳細																読み出し (リモートユニット→ マスタユニット)	AnyWireASLINK パラメータ
Un¥G12328	センシングレベル																	
Un¥G12329	システム予約																—	—
Un¥G12330	ワード点数パターン																読み出し (リモートユニット→ マスタユニット)	AnyWireASLINK パラメータ
Un¥G12331	ビット点数パターン																	
Un¥G12332	ユニット形名ナンバー																	
Un¥G12333	機器バージョン																	
Un¥G12334～ Un¥G12335	システム予約																—	—

各リモートユニットが持つパラメータには下記の種類があります。

- ・機器パラメータ（19 種類）
リモートユニットごとに持つパラメータで、リモートユニットの機種によって内容が異なります。
詳細については、リモートユニットの仕様を確認してください。
- ・AnyWireASLINK パラメータ（7 種類）
AnyWireASLINK に接続するすべてのリモートユニットが持つ共通のパラメータです。

名称	読み出し/ 書き込み	対応バッファメモリエリア	詳細内容
ユニットID	読み出し	Un¥G12288+n×30H (n:0~127) 48ワードの1番目	リモートユニットのID を示します。 ・000H~0FEH: ビット出力リモートユニットのID ・200H~2FEH: ビット入力リモートユニットまたは ビット入出力混合リモートユニットのID ・400H~5FEH: ワード出力リモートユニットのID ・600H~7FEH: ワード入力リモートユニットまたは ワード入出力混合リモートユニットのID ・OFFH: ビット出力リモートユニットおよびワード出力リモート ユニットの未設定ID ・2FFH: ビット入力リモートユニット、ビット入出力混合リモート ユニット、およびワード入力リモートユニット、ワード入出力 混合リモートユニットの未設定ID
ステータス詳細	読み出し	Un¥G12327+n×30H (n:0~127) 48ワードの40番目	リモートユニットの状態を示します。 ビット単位の ON/OFF により、リモートユニットの状態は下記の 1) ~ 6) となります。 1) ユニット電源状態 ON: リモートユニット電圧低下 OFF: 異常なし 2) センシングレベル状態 ON: センシングレベル低下 OFF: 異常なし 3) I/O 断線 ON: I/O 断線 OFF: 異常なし 4) I/O 短絡 ON: I/O 短絡 OFF: 異常なし 5) I/O 電源低下 ON: I/O 電源側の電圧低下 OFF: 異常なし 6) リモートユニットの機種によって異なる
センシングレベル	読み出し	Un¥G12328+n×30H (n:0~127) 48ワードの41番目	接続するセンサの値を表示します。 値は接続するリモートユニットによって異なります。 (例: ON/OFF センサの場合、0 ~ 100% のアナログ値で表示し ます。)
ワード点数 パターン	読み出し	Un¥G12330+n×30H (n:0~127) 48ワードの43番目	リモートユニットの占有ワード点数および入出力種別が確認できます。 ■b0~b5: 占有ワード点数 (0~63 (0H~3FH)) リモートユニットが占有するワード点数です。 入出力リモートユニットの場合は、入力点数と出力点数が加算された 値になります。 読み出し値+1 が占有するワード点数になります。 (例: 0 の場合占有ワード点数は 1、7 の場合占有ワード点数は 8) ■b6、b7: 入出力種別 (0~3 (0H~3H)) ・0: 入力リモートユニット ・1: 出力リモートユニット ・2: 入出力リモートユニット ■b8~b15: システム予約

名称	読み出し/ 書き込み	対応バッファメモリエリア	詳細内容
ビット点数 パターン	読み出し	Un¥G12331+n×30H (n:0~127) 48ワードの44番目	リモートユニットの占有ビット点数および入出力種別が確認できます。 ■b0 ~ b5 : 占有ビット点数 (0 ~ 63 (0H ~ 3FH)) リモートユニットが占有するビット点数です。 入出力リモートユニットの場合は、入力点数と出力点数が加算された値になります。 読み出し値 +1 が占有するビット点数になります。 (例 : 0 の場合占有ビット点数は 1、7 の場合占有ビット点数は 8) ■b6、b7 : 入出力種別 (0 ~ 2 (0H ~ 2H)) ・ 0 : 入力リモートユニット ・ 1 : 出力リモートユニット ・ 2 : 入出力リモートユニット ■b8 ~ b13 : システム予約 ■b14、b15 : ビット/ワード種別 (0 ~ 2 (0H ~ 2H)) ・ 0 : ビットリモートユニット ・ 1 : ワードリモートユニット ・ 2 : ワードビットリモートユニット
ユニット形名 ナンバー	読み出し	Un¥G12332+n×30H (n:0~127) 48ワードの45番目	リモートユニットの形名を表す番号です。 接続するリモートユニットによって異なります。 弊社ホームページ (www.anywire.jp) でご確認ください。
機器バージョン	読み出し	Un¥G12333+n×30H (n:0~127) 48ワードの46番目	リモートユニットの機器バージョンを示します。

■ ワードデータ点数設定 (Un¥G31488)

ワードデータの点数が格納されます。

ワードデータをエンジニアリングツールから設定する場合は、CPU ユニットのリセット時に反映されます。

設定値	内容
0	0ワード (ワードデータを使用しない)
1	2ワード (入力1ワード、出力1ワード)
2	4ワード (入力2ワード、出力2ワード)
}	}
512	1024ワード (入力512ワード、出力512ワード)

■ ワードデータ開始アドレス設定 (Un¥G31490)

ワードデータ開始アドレス設定機能にて、ワードデータを開始するアドレスが格納されます。

設定値	内容
0	ワードアドレス0
1	ワードアドレス1
2	ワードアドレス2
}	}
511	ワードアドレス511

■ 1フレームあたりのワードデータ点数設定 (Un¥G31492)

ワード伝送の1フレームあたりのワードデータ点数が格納されます。

ワードデータをエンジニアリングツールから設定する場合は、CPU ユニットのリセット時に反映されます。

設定値	内容
0	0ワード (ワードデータを使用しない)
1	2ワード (入力1ワード、出力1ワード)
2	4ワード (入力2ワード、出力2ワード)
}	}
5	32ワード (入力16ワード、出力16ワード)

■ ワードデータサイクル数設定 (Un¥G31493)

ワード伝送時のサイクル数が格納されます。

設定値	内容
0	0サイクル
1	1サイクル
2	2サイクル
}	}
512	512サイクル

Anywire 株式会社エニワイヤ

本 社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場団所 1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所
<http://www.anywire.jp/>

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間 9:00～17:00(土日祝、当社休日を除く)

075-952-8077

■ メールでのお問い合わせ info@anywire.jp

UMA-20269AA